

まきばの風

ぽかぽか

Community Magazine of JA Doutou Asahi



北海道ブラックアンドホワイトショウ
菊地正明さんがジュニアチャンピオン獲得！



あさひ四兄弟

長男 たいよう・次男 だいち
長女 みどり・次女 みるく

もくじ

みどりのJAお仕事紹介	2
令和元年度新採用職員酪農基礎研修	3
西春別支所資材市「春の大感謝祭」・理事会報告	4
営農のページ（普及センター）	5
営農のページ（酪農試験場）	6
別海高校より	7
JAグループ通信	8
今こそJA・未来を拓く協同組合	9
4月生乳生産・乳代単価情報・編集局から 他	10



みどりのJAお仕事紹介!

ASAHIサポートセンター設立3年目



第19回

ヘルパー社員は21名に

平成29年6月19日に誕生した(株)ASAHIサポートセンターは、間もなく誕生から3年目を迎えます。社員は設立時の11名から現在では25名と倍増し、昨年度の年商は2億円を突破しました。

酪農ヘルパーの利用は、酪農家の需要に対し供給が追い付かず社員に加え、嘱託ヘルパーや後継者ヘルパー等、外部ヘルパーの協力を得ながら組合員の要望に対応しております。昨年度のヘルパーの稼働日数は7,257日の実績で、酪農家の年間の平均稼働日数は約19日と年々増加する傾向にあり、今後も増えていくことが予想されるため、農業系の学校への訪問や新・農業人フェア等、企業説明会への積極的な参加を通じ、さらなる人材の確保に取り組むこととしております。

研修等で職員交流も活発に

4月20日、今年度の農繁期を前に、安全祈願祭が執り行われました。会場では、会社所有の作業機に加え社員・役員が一堂に会し、田

中社長が神前に玉串を捧げ今年度の作業安全を祈願しました。その後、焼肉を囲んでの交流会も行われ、今年度入社した4名の社員紹介などで交流を深めました。

その他、社員向けの研修として、今までに搾乳ロボットに関する研修や、各種

講習会などへの参加、

また、今年

初めてトラ

クターのバ

ケットやロ

ーダーを使

用した作業

を体験する

機械研修を

実施するな

ど、入社後

のスキルア

ップや交流

の場の提供

にも取り組

んでいます。

今年度の事業方針

酪農ヘルパー事業は要員確保に



←焼肉交流会 ↑安全祈願祭



向け、引き続きインターンシップやヘルパー体験の受け入れを通じ、採用につなげることとしており、昨年の8名を上回る社員の獲得を目指しております。また、会社の特徴としてヘルパー社員で入社しても、その後の本人の希望によってはJA職員として推薦する制度や、新規就農希望者の技術研鑽の場として将来の営農にプラスになる点をアピールしながら人材の確保に努めて参ります。

コントラ事業は2セット体制による稼働としており、2セット目は上春別の(株)山桑緑地耕業からオペレーターを派遣してもらうと共に、不足する機械についても貸し出してもらう受託面積合計で1,320ha(1番・2番・3番)を計画しております。

スラリー散布作業については、今年度より4台体制(20t・2台・16t・2台)による稼働となり、現段階での作業申し込みは、春散布を含め約1,200時間(22戸)となっております。今後、スラリーの秋散布を希望する方についてはお問い合わせ願います。

慣れない牛舎作業に苦戦「家族酪農の発展」を議論

～令和元年度新採用職員酪農基礎研修～

5月22日から24日までの日程で、今年度の新採用職員を対象に、酪農基礎研修を別海町酪農研修牧場で行いました。

同牧場の嶋野場長をはじめ就農を目指すスタッフ皆さんの全面協力のもと、12名の新採用職員全員が、2泊3日の日程で牛舎作業と座学による研修に臨みました。

座学研修では酪農の基本から、現場での安全な作業に向けて、牛の特性や危険行為について学びました。実際の作業体験では、朝は3時半に起床し牛舎清掃に子牛への哺乳やデントコーンへのシート掛けなど、慣れない作業に苦戦しながらも、スタッフの皆さんの丁寧な指導を頂きながら終わることが出来ました。

最終日のグループワークでは、各参加者が研修を通して学び感じたことを踏まえて、「家族経営酪農の発展」をテーマに6人1グループで議論しました。参加者は始めは戸惑いつつも、グループのリーダーを中心にアイデアを出し合い、付箋に書き出し、掘り下げながら意見をまとめていきました。最後に各グループで「作業の機械化や効率化を図る道具の使用、衛生的な環境づくり」などを結論としてまとめ、意見を堂々と発表しながら職員としての自覚を新たにしている様子でした。



同期で助け合いながら無事に研修を終えました



グループワークで意見を出し合い発表し合う職員

西春別支所 資材市 春の大感謝祭

別海町に活力を！

毎年恒例となりました、西春別支所名物「資材市 春の大感謝祭」が5月10日に開催されました。今年で21回目を迎える資材市はAコープ前に会場を構え、

各種資材や花・苗の販売をはじめ、無料の豚汁提供などが行われました。また、乳製品消費拡大キャンペーンとして、青年部では牛乳の無料配布、女性部からはミルクココア・ミルクもちが振る舞われ、多くのお客様で賑わいました。

資材市では恒例となりました、終わりの見えない長蛇の列。列の先には、超目玉コーナーの1,000円ワン紙幣販売会場がありました。今年は卵やトイレットペーパー等、計7点が入っており、あっという間に完売しました。

今年の天候は曇りでしたが沢山の方々にご来場頂きました。またのご来場をお待ちしています。



目玉コーナーに長蛇の列



青年部による牛乳無料配布



女性部によるミルクもちの配布

第2回理事会報告 令和元年5月10日開催

議案第1号	規程類の一部改正について	協議事項3	J A道東あさひ施設建設第三次プロジェクトの取り組みについて
議案第2号	「独立監査人の監査報告書」及び「監事の監査報告書」について	報告事項1	第10回通常総会表彰者について
議案第3号	決算書類の承認について	報告事項2	平成30年度乳検事業概要について
議案第4号	第10回通常総会に係る提出議案について	報告事項3	令和元年度新規就農者激励状贈呈事業対象者について
議案第5号	令和元年度各支所の乳牛共進会等の開催日程と予算について	報告事項4	平成30年度株式会社ASAHIサポートセンターの収支決算について
議案第6号	一般組合員に対する農業経営基盤強化資金の借入と貸付について	報告事項5	大規模災害時におけるJ A職員初動対応マニュアルについて
協議事項1	第10回通常総会議事運営について	報告事項6	平成31年3月末財務の動向について
協議事項2	設立10周年記念事業（表彰）について	報告事項7	要改善J A（指導区分「5」）の指定について（通知）

第3回理事会報告 令和元年5月28日開催

議案第1号	規程類の一部改正について	報告事項3	組合員の動向（4月末）について
議案第2号	北海道常例検査結果指摘事項に対する改善状況等の報告について	報告事項4	融資審査会の結果について
議案第3号	回転出資金の振り向けについて	報告事項5	定款第57条第6項に基づく貸出金に係る理事会承認案件の処理状況について
議案第4号	不良債権の処理方針について	報告事項6	総体的なリスク量管理について
議案第5号	一般組合員に対する農業経営基盤強化資金の借入と貸付について	報告事項7	特定組合員実績（4月末）について
議案第6号	一般組合員に対する農業経営基盤強化資金（信連委託貸）の事務取扱について	報告事項8	平成30年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る入札結果について
議案第7号	キャトルセンター竣工式の開催について	報告事項9	J A道東あさひ別海支所「2019 J Aふれあいまつり」の開催について
協議事項1	持続的な北海道農業の確立に向けた意見集約について	報告事項10	根室地区酪対役員会の結果について
協議事項2	酪農畜産政策・価格対策並びに酪肉近計画見直しに係る意見集約について	報告事項11	北海道酪農体質強化対策事業に係る平成30年度実績と平成31年度計画について
報告事項1	地区懇談会の意見集約について	報告事項12	販売事業実績（4月末）について
報告事項2	貸借対照表及び損益計算書（4月末）について	報告事項13	購買事業実績（4月末）について
		報告事項14	行事予定について

草地を長持ちさせるための、追肥の効果について

営農のページ
【普及センター】

チモシー採草地は、早春の施肥だけではなく1番草収穫後の追肥により持続性を高められます。今回は1番草収穫後の追肥の効果について紹介します。

1 追肥は来年の1番草収量に影響します！

チモシーは、1番草が収穫されるとほとんどの刈り残った茎葉が枯死し、収穫して7～10日目頃に新しい茎（分げつ）が発生します（写真1）。

この新しい茎が2番草を構成し、越冬して翌年の1番草を構成する分げつになります。2番草で分げつが増えると翌年の1番草の茎数が増加し、密度維持に寄与します。2番草の分げつを増やすには、1番草収穫後の施肥が効果的です。

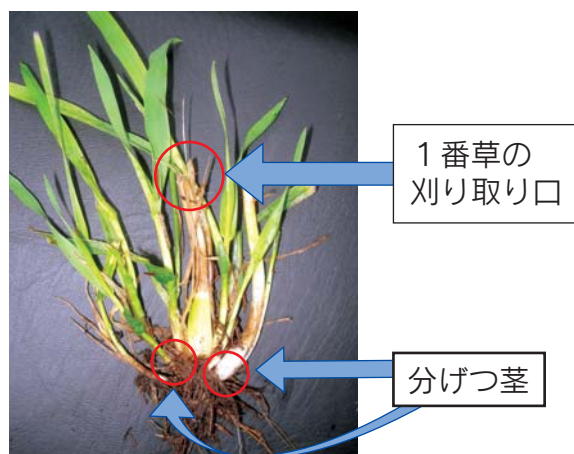


写真1 チモシーの新分げつ

2 裸地拡大の軽減・雑草の侵入防止

1番草収穫後に追肥が無いと、葉が黄緑色に変色し、斑点病などの病害が発生してしまう場合があります（写真2）。その結果、チモシーが衰退して雑草が侵入することで草種構成が悪化します。



写真2 1番草収穫後、養分不足のチモシー

3 追肥時期について

追肥はタイミングが重要です。ベストは、1番草収穫後7～10日前後です。1茎重（1本の重さ）が高まることで、収量が増加します（図1）。収穫後10日目までは、刈取り残部の貯蔵養分に依存して成長します。10～20日は、新しい茎が根から養分を吸収して成長します。そのため、この期間は窒素施肥の効果が高く、窒素吸収も旺盛なので、2番草の分げつを増加させるとともに1茎重を高めて増収させる効果があります。収穫後、速やかに追肥が行えるように、早めに肥料の準備等を行いましょう！

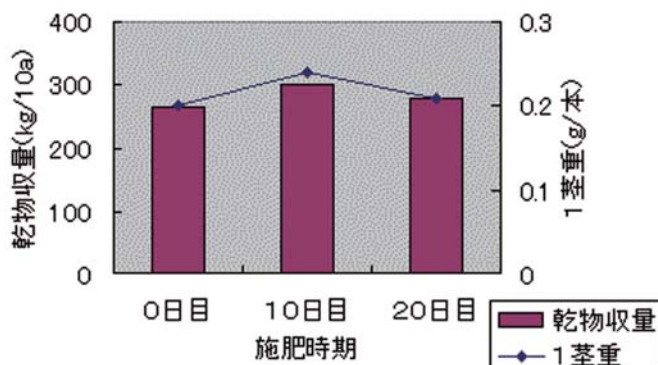


図1 1番草刈取後の施肥時期が2番草収量に及ぼす影響（1987 松中・小関）

1番草収穫後の追肥は、収量を確保し、草種構成を維持するために重要です。忙しい季節となりますが、農作業事故に十分注意してください。

乾乳期間は60日じゃないとダメなのか？

畜産試験場 生物学グループ 小山 毅（元酪農試験場 乳牛グループ）

営農のページ

【酪農試験場】

多くの酪農場では乾乳期間を60日間に設定していますが、乾乳期間は必ず60日必要なのでしょうか？酪農試験場では全道の牛群検定成績（以下乳検）等を解析し、適切な乾乳期間に関する検討を行いました。

● 乾乳期間が乳生産に及ぼす影響

乾乳期間が56～65日の牛（以下慣行区。平均乾乳日数；約60日）と比較した場合、乾乳期間が短かった牛では次産次の305日乳量が減少していました。一方、乾乳期間が短縮したということは、泌乳期間が延長したということです。そこで前産次における泌乳延長分の乳量と次産次の305日乳量を合計した総乳量で比較すると、乾乳期間が20日程度短縮しても総乳量は慣行区と同程度になると考えられました（表1）。泌乳延長分の乳量および栄養充足率を考慮すると、乾乳期間が短縮可能な牛の条件として、分娩60日前の検定乳量が初産牛で18 kg以上、2産以上で20 kg以上である必要があります。

● 乾乳期間と疾病発生との関係

慣行区と比較した場合、乾乳期間が短かった牛では分娩後56日以内の第四胃変位とケトーシスの治療確率が低下しましたが、乳房炎は乾乳期間が極端に短い場合（25日以下）に治療確率が増加していました（表1）。

表1. 乾乳期間が次産次の乳生産および疾病発生状況に及ぼす影響

乾乳期間 区分	305日乳量 ¹⁾ (kg)		総乳量 ¹⁾ (kg)		第四胃変位治療 ²⁾ オッズ比 ³⁾		ケトーシス治療 ²⁾ オッズ比 ³⁾		乳房炎 ²⁾ オッズ比 ³⁾	
	初産～2産	2～3産 以上間	初産～2産	2～3産 以上間	初産～2産	2～3産 以上間	初産～2産	2～3産 以上間	初産～2産	2～3産 以上間
≤15日	7,917*	8,334*	8,907	9,132	0.0006	0.0001	0.34	0.52	1.51	3.62*
16～25日	8,324*	8,771*	9,072	9,393	0.66	0.47	0.56	0.34+	1.61*	1.96*
26～35日	8,807*	9,083*	9,382	9,571	0.45*	0.61*	0.64+	0.53*	1.00	1.09
36～45日	9,178*	9,397*	9,570	9,736	0.79	0.66*	0.61*	0.76*	1.06	1.01
46～55日	9,400*	9,547*	9,601	9,724	0.76*	0.85*	0.64*	0.86+	1.06	1.08+
56～65日	9,475	9,606	-	-	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

1) 全道の乳検データ（初産～2産以上；約10万頭、2～3産以上；約20万頭）を解析。

2) 草地型酪農地帯A農協管内の診療データ（初産～2産以上；約2万頭、2～3産以上；約3万頭）を解析。

3) 乾乳期間区分56～65日を基準として各区分の疾病発生の確率を計算した。オッズ比が1を超えると疾病発生の確率が上昇する。

* 乾乳期間56～65日と比較して差あり、+ 乾乳期間56～65日と比較して差がある傾向。

● 乾乳期間の設定基準

乾乳期間が乳生産および疾病発生に及ぼす影響を考えると、乾乳期間は36～65日の範囲内で設定可能であると考えました（表2）。

表2. 乳量および周産期疾病発生リスクを考慮した乾乳期間の設定基準

乾乳期間	305日乳量		第四胃変位		ケトーシス		乳熱		乳房炎	
	初産～2産	2～3産 以上間	初産～2産	2～3産 以上間	初産～2産	2～3産 以上間	初産～2産	2～3産 以上間	初産～2産	2～3産 以上間
15日以下	乳量が泌乳延長分乳量 以上に低下する。		変化なし		変化なし		変化なし		変化なし	リスク増加
16～25日					リスク低下	リスク増加				
26～35日			リスク低下	リスク低下		リスク低下			変化なし	変化なし
36～45日	乳量は低下するが泌乳延 長分乳量で補填可能 ¹⁾ 。		リスク低下	リスク低下	リスク低下	リスク低下	変化なし	リスク低下	変化なし	変化なし
46～55日							リスク低下	変化なし		
56～65日	現在推奨されている乾乳期間									

□ 設定可能な乾乳期間 1) 分娩直前の検定乳量が、初産牛で18 kg以上、2産以上で20 kg以上の場合

別海高校 酪農経営科・専攻科

●【経営科】プロジェクト計画発表会

4月25日（木）に、今年度のプロジェクト活動の計画について審議する「プロジェクト計画発表会」が行われました。この計画発表会では、プレゼンテーションを通して説明する力や計画的に準備を進める力を養うとともに、内容をより良くするための意見交換および質疑応答なども行われました。

現在、動物バイオ専攻班、飼料作物専攻班、資源循環専攻班、乳製品加工専攻班の4班がそれぞれのプロジェクト活動を実施しており、生徒の積極的な質疑と意見交換が行われました。1年生も聴講するとともに物怖じすることなく先輩に研究内容についての質疑をおこない、充実した計画発表会となりました。

今後、各専攻班ともに研究を進め、冬には成果をまとめてプロジェクト実績発表大会を実施します。



計画発表会の様子

●【経営科】校内意見発表大会

5月13日（月）に本校体育館にて校内意見発表大会を実施しました。

4月中旬に各学年のクラス内意見発表大会で選出された代表生徒12名が、本校体育館のステージ



意見発表の様子

にて自分の意見発表を行いました。外部審査員を含む5名の審査員の厳正な審査のもと選出された代表生徒は、6月19日に東藻琴高校にて行われる東北道学校農業クラブ連盟意見発表大会に出場します。今回実施した校内意見発表大会の最優秀者は下記のとおりです。

分野Ⅰ類「生産・流通・経営に関わる発表」

最優秀賞「我が家の経営改善に向けて」

酪農経営科 3年 守屋 由真

分野Ⅱ類「開発・保全・創造に関わる発表」

最優秀賞「別海のチーズに夢を添えて」

酪農経営科 3年 金内 ゆかり

分野Ⅲ類「ヒューマンサービスに関わる発表」

最優秀賞「生産者と消費者の想いをかたちに」

酪農経営科 3年 菅野 涼

●専攻科【修了研究活動計画発表会】

4月19日（金）に専攻科ゼミ室を会場にして「修了研究活動計画発表会」が行われました。これは、2年目学生が1年間自家の課題解決のため、研究に取り組む為の計画を発表するものです。

今年度は「ネックレールの調整とベッドメイキングの見直しによる乳房炎減少を目指して」、「光合成菌の制菌効果で糞尿臭を減少～酪農のイメージ向上を目指して～」、「肢の疾病を減らす」、「丈夫な育成牛を育てる」、「トライアンドエラーで経営改善を目指して」、「和牛と乳牛生産の両立化」の6つのテーマとし、それぞれの課題を発表し、どのような点に着目し課題解決をするのか、具体的に発表していました。修了研究活動中間発表会は8月23日（金）に、修了研究活動発表会は11月28日（木）に開催予定です。



修了研究活動計画発表会の様子

●専攻科【酪農機械・施設学】

5月8日（水）～10日（金）の3日間、外部講師をお招きして「酪農機械・施設学」の講義を実施しました。この授業は、搾乳に関する手法や生理、ミルクカーシステムの構造、また農作業事故が発生した時の対応についての知識を身につける授業です。

【1日目】午前の部は乳牛の快適性と飼養施設について、根室農業改良普及センター主任普及指導員 武井昌夫様より、乳牛の飼養施設の違いによって快適性にどのような影響があるのか、牛の生態を踏まえてより詳しくご講義いただきました。午後からは、最新のミルクカーシステムの種類と特徴、適切なメンテナンス・洗浄方法について、北海道オリオン株式会社別海営業所所長 中谷 泰久様、クリーン化学工業株式会社（恵庭市）吉田 憲司様より詳しくご講義いただきました。

【2日目】午前の部は牛にも人にも優しい木造牛舎の設計について有限会社吉田ハウス代表取締役社長 吉田 史郎様より、また午後からは最も基本的な搾乳の正しい手順、研修牧場の役割について別海町酪農研修牧場 嶋野 幹夫場長より、具体的にご講義いただきました。

【3日目】救急救命講習（AED講習）や農作業中の事故対応と薬品の特徴について、別海消防署 眞嶋剛様よりご講義いただきました。

講義にご協力くださいました講師の先生方に、この場をお借りして御礼申し上げます。



研修会の様子

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

各団体の詳しい取り組み内容は、WEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



NHK連続テレビ小説「なつぞら」をご覧になっていきます。なつぞらというか？JA北海道中央会のフェイスブックページでは、4月23日より「なつぞら」に関する投稿を不定期ながら発信しています。

ドラマでは当時の農業や農村の様子だけではなく、農協（JA）についても取り上げられていることから、北海道農業をサポートするJAグループ北海道として、ドラマの感想も含め、関連する北海道農業・酪農の歴史や魅力、JAに関する歴史・話題などをお届けしていく予定です。フェイスブックにて検索してJA北海道中央会のページに「いいね！」「ページをフォローする」をタップして頂きますと、記事が表示されるようになりますので、ご覧頂けると幸いです。



<https://www.facebook.com/jahokkaido>



JA北海道信連

JAバンク北海道では、スポーツ振興や地域振興の観点から、「日刊スポーツ豊平川マラソン」への協賛を行い、今年で4年目となります。ゼッケンに「JAバンク北海道」ロゴを掲出し、特設ブースには新キャラクター「よりぞう」も駆け付け、一緒に写真撮影をされた方に「よりぞう」シールをプレゼントしました。

「よりぞう」が登場すると、たくさんの子供たちに囲まれ、大会を大いに盛り上げました。



JA共済連北海道

JA共済連では、道内の8校（中・高等学校）にて、スタン・トマンが危険な自転車走行に伴う交通事故場面を再現し、生徒が事故の危険性を疑似体験する（スケアード・ストリート教育技法）自転車交通安全教室を開催します。

JA共済連は、本活動を通じて交通事故の未然防止を図り、次世代を担う子供たちの育成と安全な生活環境づくりに貢献していきたいと考えております。



ホクレン

ホクレンは創立100周年を迎えた4月18日、札幌パークホテルにて会員JA・取引先をはじめとする皆様にご臨席いただいて記念式典を開催し、続けて祝賀会も開催しました。祝賀会では100周年の節目にあらためて設定したホクレンの経営理念「わたしたちは生産者のための協同組合として会員JAと連携した事業を通じ、共生の大地北海道から、「農」と「食」の未来を担います」が内田会長より発表されました。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行し、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご覧ください。



今こそJA

最終回

JAが果たすべき役割とは？

「今こそJA」も今回が最終回になります。JAは競争原理ではなく、人と人とのつながりで成り立っている組織であり、組合員の営農と生活を守るために様々な事業を行っていることをお話ししてきました。

二宮尊徳はその教えの中で、徳を以て徳に報いることの大切さを説いています。これは人々が地域で生きていくためにお互いが助け合うこと、相互扶助が重要であることをあらわしています。日本は小規模家族経営のままで農業生産力をアップすることに成功した唯一の国といわれています。その大きな役割を果たしてきたのが日本の農業協同組合、総合農協なのです。

しかし、協同組合には欠点もあります。何か物事を決める場合、協同組合は組合員一人一人の意見を聞き、合意をとって進めることを基本としています。このことにより、急激な情勢変化に対応できず、大切な判断が遅れてしまうこともあります。今回の農協改革のような外圧によって

自己改革の機運も高まりましたが、「協同組合だから今のままでいい」ということではなく、JAも組合員のニーズに応えられる組織に自ら変えていかねばなりません。自由競争が叫ばれる現在の日本において「相互扶助」の大切さを再認識し、なぜ協同組合が生まれたのかという原点に立ち返り、その仕組みや理念を知ることが大切なのではないでしょうか？地域にとってJAでなければできないことがまだまだたくさんあります。今こそJAが力を発揮すべき時なのです。



未来を拓く協同組合 JAと農業

未来を拓く協同組合

JAと農業

監修=JCA
(日本協同組合連携機構)

JAグループの基本的な取り組み

2019年3月に開催した第28回JA全国大会では、3つの危機を突破し、「組合員とともに農業・地域の未来を拓く」ことを取り決めました。3つの危機とは、担い手不足や高齢化などの「農業・農村の危機」、JA組織基盤の弱体化と事業取扱高の減少という「組織・事業・経営の危機」、わがJA、意識の低下などによる「協同組合の危機」です。

これに対する、JAの基本的な姿勢は「協同組合の原点に立ち返り、組合員の『声』に基づく運営を徹底する」ことにあります。JA役職員は日常的な対話を通じて組合員との相互理解を深め、自己改革の取り組み実績等を伝えるとともに、組合員の評価や新たなニーズを把握します。そして、地域の特性を生かして、創意工夫を凝らした個性ある取り組みを展開します。

語句解説

【JA全国大会】(じえいえいぜんこくたいかい)

3年に1度、全国のJAの代表者が集まり、JAグループの目指す方向などを決定する大会。第28回大会では、自己改革の基本目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」へのさらなる挑戦と、それを支える持続可能な経営基盤の確立・強化を重点課題として、「創造的自己改革の実践」を提起しました。

第28回JA全国大会 創造的自己改革の実践



耕そう、大地と地域の未来。

4月 生乳生産・乳代単価情報

区 分	4 月	累 計	脂肪率	無脂固形分率	補給金単価	F A T単価	S N F単価	乳質単価	乳代合計
全 道	321,061t	321,061t	3.98%	8.77%	8.62円	36.89円	51.53円	3.76円	100.81円
前年(比)	100.5%	100.5%	3.97%	8.77%	8.51円	36.47円	50.97円	3.75円	99.69円
根室管内	65,910t	65,910t	4.01%	8.72%	8.62円	37.23円	51.20円	3.79円	100.83円
前年(比)	99.8%	99.8%	4.02%	8.71%	8.51円	36.87円	50.61円	3.80円	99.78円
JA道東あさひ	28,832t	28,832t	4.02%	8.72%	8.62円	37.30円	51.22円	3.77円	100.91円
前年(比)	98.4%	98.4%	4.02%	8.71%	8.51円	36.91円	50.61円	3.77円	99.80円
西春別支所	7,564t	7,564t	3.97%	8.73%	8.62円	36.78円	51.29円	3.74円	100.43円
前年(比)	97.9%	97.9%	3.96%	8.70%	8.51円	36.34円	50.55円	3.84円	99.24円
上春別支所	5,485t	5,485t	4.00%	8.78%	8.62円	37.10円	51.57円	3.78円	101.08円
前年(比)	103.6%	103.6%	3.99%	8.74%	8.51円	36.60円	50.79円	3.87円	99.76円
別海支所	11,943t	11,943t	4.06%	8.69%	8.62円	37.63円	51.05円	3.75円	101.05円
前年(比)	97.3%	97.3%	4.05%	8.71%	8.51円	37.21円	50.57円	3.68円	99.96円
根室支所	3,841t	3,841t	4.05%	8.70%	8.62円	37.57円	51.09円	3.90円	101.19円
前年(比)	96.2%	96.2%	4.09%	8.72%	8.51円	37.52円	50.62円	3.75円	100.40円

今月のあなたの運勢 6月 モナ・カサンドラ

♈ 牡羊座
3/21~4/19

【全体運】コミュニケーション運が活性化。初対面でもフランクに話し掛けるとラッキーな結果に。習い事を始めるのも◎

【健康運】食べ過ぎ注意。消化の良い食材に注目を

【幸運の食べ物】さんしょう

♉ 牡牛座
4/20~5/20

【全体運】のんびり構え過ぎてしまう傾向がチラリ。必要な仕事は後に回さず、早めに済ませて。気晴らしには芸術鑑賞を

【健康運】ウォーキング吉。好影響が期待できそう

【幸運の食べ物】インゲン

♊ 双子座
5/21~6/21

【全体運】目新しいことに興味を持つと、素晴らしい展開に。好奇心を刺激されたなら、ぜひ挑戦を。イベント参加も正解

【健康運】栄養バランスが偏りがち。改善に努めて

【幸運の食べ物】クレソン

♋ 蟹座
6/22~7/22

【全体運】気が緩みやすい月。慣れている作業でも油断は禁物です。また、うわさや誤情報に振り回されないよう、うのみは×

【健康運】慌てるとけがの暗示。深呼吸で冷静に

【幸運の食べ物】梅

♌ 獅子座
7/23~8/22

【全体運】人間関係が広がりを見せる予感。習い事や地域の集まりなどには気軽に顔を出して。グループリーダーも幸運

【健康運】ストレス解消には手軽な体操が効果的

【幸運の食べ物】ジャガイモ

♍ 乙女座
8/23~9/22

【全体運】思うようにならない出来事が多くなるかも。今できることに心を込めてみましょう。開運には花や樹木に触れて

【健康運】まずまず。マッサージをすると好影響大

【幸運の食べ物】葉ショウガ

♎ 天秤座
9/23~10/23

【全体運】思い切りが良く、チャンスをゲットしやすい時期。ひらめきを信じて動いて。しっかり目的意識を持つのも大事

【健康運】疲れを感じやすい気配。休息を心掛けて

【幸運の食べ物】パプリカ

♏ 蠍座
10/24~11/22

【全体運】あれこれ思い悩み、暗い顔で過ごしがち。自分の本当の気持ちと向き合ってみて。笑顔キープも忘れずに

【健康運】体を動かせば、日頃の鬱憤(うつぶん)解消が可能

【幸運の食べ物】ピワ

♐ 射手座
11/23~12/21

【全体運】いろいろな分野に興味を感じるものの、飽きっぽくなっていくよう。手を広げ過ぎるのは避けて。観劇にはつき

【健康運】梅雨冷えにご用心。軽い運動が開運の鍵

【幸運の食べ物】カワハギ

♑ 山羊座
12/22~1/19

【全体運】何かと消極的になってしまいそう。内にこもりやすく、好機に気付かず逃がしがちです。前向きな発想を大切に

【健康運】無理は禁物。規則正しい生活を目標として

【幸運の食べ物】ミョウガ

♒ 水瓶座
1/20~2/18

【全体運】イマジネーションが豊かになる期間。お好きな創作活動に励んでみては。プレイスポットに足を運ぶのもGOOD

【健康運】スタミナが不足気味。睡眠はたっぷり

【幸運の食べ物】カツオ

♓ 魚座
2/19~3/20

【全体運】手振きはトラブルを招くもと。心を込めて飲むのが幸運の呼び水に。部屋の模様替えも運気アップが期待できます

【健康運】シェイプアップに励むと確かな手応えあり

【幸運の食べ物】ラッキョウ

異動職員

令和元年5月1日

西春別支所
生産課 畜産販売係
→西春別支所
生産課 生乳検査係
中洞 要

令和元年6月10日発行

発行/JA道東あさひ

編集/営農部 営農振興課

住所/北海道野付郡別海町

別海緑町116番地9

電話/(0153) 75-2201 (代表)

ホームページ

<http://www.ja-doutouasahi.or.jp>

メール/kikaku@ja-doutouasahi.or.jp

近年では「数十年に一度の大雨」など、偏った予報や記録が多く「異常気象」という言葉が軽く聞こえるように感じている方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。気象条件に左右される酪農ですが、粗飼料収穫時は長雨や暴風等に見舞われないよう祈るばかりです。

5月26日は、道内で真夏日や猛暑日を相次いで記録し、佐呂間町の最高気温が39.5度で5月の国内最高気温を更新するなど、異常な暑さとなりました。これまでの道内における5月の最高気温は33.9度というところで、これを大きく更新する結果となりました。

編集局から